

(別紙1)

平成20年度事業報告

平成20年4月1日から

平成21年3月31日まで

当財団法人は、産業廃棄物の適正な処理、その他廃棄物に関する各種事業を行うことにより、県民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与することを目的に設立された法人であり、適正な廃棄物処理に万全を期して県民に信頼される廃棄物処理センターとして受け入れを促進し、関係法令等を遵守した適正な処理を行うとともに、廃棄物の適正処理に関する情報の発信や啓発事業に取り組み、県民の快適な生活環境の向上に努めた。

1 公益（普及啓発）事業

(1) 情報公開

財団法人の組織や施設の概要、利用者・見学者への案内等について情報発信を行うため、平成16年6月にホームページを開設し、平成17年度から産業廃棄物に関する解説や環境測定結果等の情報を公開している。（平成20年度閲覧件数 10,348件）

また、ホームページに施設の見学案内を掲載し、ホームページ上からも利用申込みができるなど利用者の便宜を図っている。

（主な掲載項目）

- ・ 事業団概要、施設概要、利用案内、施設見学案内
- ・ 種類毎の受入基準、搬入予約、申込書等諸様式
- ・ 事業報告書、寄附行為、経営改善計画書
- ・ 環境測定結果、廃棄物一口メモ、廃棄物Q&A
- ・ 維持管理記録簿

(2) 廃棄物の適正処理に関する啓発

いわて環境王国展等のイベントにおいて、不法投棄の防止と最終処分場の現状やリサイクル製品推進事例、廃棄物サンプル等を紹介し、環境保全への意識高揚及びリサイクルの促進に取り組んだ。

また、整備中の第Ⅱ期最終処分場の漏水検知システム構成を利用し、分かりやすく説明した。

ア 出展・展示の実績

- ・ 8月 施設公開 希少植物観察会
- ・ 10月 岩手県環境保健研究センター 一般公開
- ・ 11月 いわて環境王国展（出展）

イ パネルの掲載内容

- ・ 廃棄物の定義と種類 ・ 産業廃棄物と一般廃棄物 ・ リサイクル事業例

- ・ 廃棄物の受入実績
- ・ 環境測定結果（排ガス、処理水、地下水）
- ・ 埋立処分場の種類
- ・ 第Ⅱ期最終処分場の建設

(3) その他視察等に対する啓発活動

県内外からの視察者（平成 20 年度 743 名）に対する当センターでの処理状況の説明や、電話等による廃棄物処理相談に対する処理方法の指導及びリサイクル事業への取組事例等の紹介などにより普及啓発活動を行った。

(4) 電子マニフェストの普及

電子マニフェスト普及のため、県事業に呼応して平成 20 年 12 月から平成 21 年 2 月までの 3 ヶ月間、電子マニフェスト利用排出事業者に係る処理料金の 5 % 割引を実施した。（電子マニフェスト件数 402 件、割引額 810, 113 円）

(5) 理事会開催

開催月日	会議名	開催場所	会議議題等
平成 20 年 5 月 27 日	第 38 回理事会	岩手県民会館	1 平成 19 年度事業報告及び収支決算 2 資産の総額の変更 3 評議員の選出
平成 20 年 11 月 14 日	第 39 回理事会	岩手県水産会館	1 長期収支計画（廃棄物処理料金）の見直し 2 諸規程の一部改正 3 評議員の選出
平成 21 年 3 月 26 日	第 40 回理事会	いわて県民情報交流センター（アイーナ）	1 平成 20 年度収支補正予算 2 平成 21 年度事業計画及び収支補正予算 3 平成 21 年度短期借入金の借入限度額 4 中期経営計画（平成 20 年度～平成 22 年度）の見直し 5 諸規程の一部改正 6 評議員の選出

(6) 評議員会開催

開催月日	会議名	開催場所	会議議題等
平成 20 年 5 月 23 日	第 21 回 評議員会	岩手県民会館	1 会長及び副会長の互選 2 平成 19 年度事業報告及び決算 3 資産の総額の変更
平成 20 年 11 月 6 日	第 22 回 評議員会	岩手県水産会館	1 長期収支計画（廃棄物処理料金）の見直し 2 諸規程の一部改正 3 理事の選任
平成 21 年 3 月 19 日	第 23 回 評議員会	岩手県民会館	1 平成 20 年度収支補正予算 2 平成 21 年度事業計画及び収支予算

			3 平成 21 年度短期借入金の借入限度額
			4 中期経営計画（平成 20 年度～平成 22 年度）の見直し
			5 諸規程の一部改正
			6 理事の選任

2 環境保全事業

(1) 周辺環境美化活動

平成 20 年 4 月と 11 月にセンター、委託業者及び第Ⅱ期最終処分場整備工事請負業者の 3 者合同で「クリーン作戦」を行い、センター周辺道路の環境美化を行った。

(2) 希少動植物保全事業

ア ビオトープに移植した希少植物の生育状況を調査した。

また、整備予定地周辺に飛来する猛禽類の繁殖状況を調査した。

※事業費 5, 796 千円（税込み）

イ センター施設公開日に自生する植物の生態系保護活動の一環として、環境保全の大切さを学ぶ観察会を平成 20 年 8 月に開催した。

※地元小学生や地元住民 83 人参加

3 廃棄物処理事業

(1) 適正な廃棄物処理・管理の推進

平成 20 年度は、240 日廃棄物を受け入れ、受入量は 49,890 トン（前年度比較 4,579 トン減）で、1 日平均受入量は 207.87 トン（前年度比較 17.21 トン減）となった。

平成 20 年後半からの景気低迷の影響を受け、廃棄物受入量は前年度比 8.4% の減少となった。（焼却対象廃棄物 6.8% 減、埋立対象廃棄物 8.8% 減）

焼却対象廃棄物については、平成 21 年 2 月から「いわて第 2 クリーンセンター」の試運転が本格化した影響も加わり、第 4 四半期は対前年同期比 27.9% の大幅な減少となった。

なお、平成 21 年 4 月 1 日からの廃棄物処理料金の改定に伴う「産業廃棄物処理委託契約」の更改を平成 20 年度内に行い、平成 20 年度末の契約件数は 10,137 件（前年度比 784 件増）となった。

（別表－平成 20 年度廃棄物受入実績）

(2) 最終処分場盛土堤の構築

最終処分場の受入量の増加を図るため、既存処分施設の区画変更を行う天端標高 109m の盛土堤を構築した。

※事業費 18, 407 千円（税込み）

(3) 新公益法人制度

平成 20 年 12 月に施行された新公益法人制度について、各種説明会等に積極的に参加し、新制度の理解に努めた。

(4) 環境保全の推進

排ガス・排水等の測定結果は、地元と締結している環境保全協定値を超えることはなかった。

※事業費 3,948 千円（税込み）

4 第Ⅱ期最終処分場整備事業

(1) 土木本体工事及び水処理施設工事の継続実施

ア 平成 18 年度から平成 20 年度の 3 ヶ年で、埋立容量 727,000 m³の最終処分場を整備した。

※事業費 1,208,586 千円（税込み）（18～20 年度 2,931,951 千円）

イ 平成 18 年度から平成 20 年度の 3 ヶ年で、浸出水処理能力 150 m³/日の浸出水処理施設を整備した

※事業費 664,199 千円（税込み）（19～20 年度 1,247,400 千円）

(2) 環境影響への回避又は低減

濁水処理施設を設置し、工事による水の濁りを除去するとともに pH 調整を実施した。

5 全国大会の開催

平成 20 年 6 月 26 日、27 日、環境省、岩手県及び全国 25 の処理公社等の参加のもと奥州市等において、「第 29 回全国廃棄物処理公社等連絡協議会担当主管者会議」を開催した。